

(4) 市川地区部会

地区部会長：渡邊 一枝

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：地域連携の現状と課題 ～MSWの立場から～ 講師：大塚 光宏 氏・山田 綾子 氏 坂本 都美子 氏	日時：7/6（土）14：00～16：30 場所：東京歯科大学市川総合病院 参加者：52名
	第2回研修会 テーマ：「地域連携」医療・保健・福祉 の充実をめざして ～多職種で取り組む退院支援～ 講師：大塚 光宏 氏・福田 将大 氏 樋口 由布子 氏	日時：12/7（土）15：00～17：00 場所：山崎製パン厚生年金基金会館 参加者：37名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日時：5/12（日）11：00～15：00 場所：市川市中央図書館 参加者：340名
	まちの保健室（常設型） 毎月第3（土） 時間 11：00～15：00	実施日：6/15、7/20、9/21、11/16、12/21、1/18 場所：市川市中央図書館 参加者：452名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：浦安健康フェア 時間 13：00～16：00	実施日：10/27（日） 場所：ショッピングプラザ新浦安4階 （看護相談コーナー） 参加者：38名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計7回） ・看護協会事業計画 ・各事業の活動計画 ・活動状況と結果及び評価 ・施設間情報交換	日時：5/10、6/14、9/6、10/11、11/8、12/13、3/7 場所：東京歯科大学市川総合病院 山崎製パン企業年金基金会館 順天堂大学医学部附属浦安病院
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会 ・活動計画 ・活動状況 ・看護協会事業計画 ・施設間情報交換	日時：6/14（金）15：00～17：00 場所：山崎製パン企業年金基金会館 参加数：12施設 12名
	第2回連絡会 ・活動計画 ・活動状況 ・看護協会事業計画 ・施設間情報交換	日時：11/8（金）15：00～17：00 場所：順天堂大学医学部附属浦安病院 参加数：12施設 12名
5 その他、地区部会活動	市町村及び関係団体の活動	・市川健康福祉センター運営協議会委員 ・市川市防災会議 ・市川・浦安自殺対策を考える連絡会議 ・市川市国民保護協議会委員
総括		
<p>・まちの保健室について 市川市中央図書館で行い、リピーターの方ができた。楽しみにして下さることでやりがいにもつながっている。しかしながら人数が昨年度と比較して、減少している。活動内容をわかりやすくすることが必要だと考えている。また、協力員が病院以外から参加して下さるのも、老々介護になっている世帯も少なくないため、制度の説明などを詳しくいただけるので心強い。</p> <p>・研修会について 東京歯科大学市川総合病院の医療連携室の力をお借りすることで、地域連携をテーマに行うことが出来た。話題のテーマであり、ワールドカフェ形式をとったのも新しく、楽しく参加いただけた。地区部会研修の役割は、研修により上達することを目指すより、興味を持っていただく。さらに勉強したいと思っただけことが役割ではないかと思っている。</p>		
今後の取り組み(残された課題)		
<p>・地域で1つになり、良い連携を持てるかかわりをしていきたいと考えている。地域連携の土台をつくってきたので、新たな取り組みを考えていきたいと思う。</p>		

(5) 松戸地区部会

地区部会長：佐々木 悦子

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：認知症の看護について 講師：川崎 智恵 氏	日 時：7/26（金）13：30～16：00 場 所：千葉西総合病院 2階プレハブ大会議室 参加者：70名
	第2回研修会 テーマ：看護師の為に簡単にできるストレッチ 講師：櫻田 敬子 氏	日 時：11/15（金）14：00～16：00 場 所：千葉西総合病院 2階プレハブ大会議室 参加者：39名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/12（日）11：00～15：00 場 所：松戸駅東口デッキ 参加者：381名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：松戸まつり 時間 10：00～16：00	実施日：10/6（日） 場 所：松戸駅西口デッキ 参加者：398名
	進路相談等	日 時：10/6（日）10：00～10：30 場 所：松戸駅西口デッキ 参加者：1名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計8回）	日 時：4/19、5/17、6/21、7/26、 9/27、10/18、11/15、1/17 場 所：千葉西総合病院 2階プレハブ大会議室
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/21（金）13：00～14：30 場 所：千葉西総合病院 2階プレハブ大会議室 参加数：11施設 11名
	第2回連絡会	日 時：1/17（金）13：00～14：30 場 所：千葉西総合病院 2階プレハブ大会議室 参加数：17施設 18名
5 その他、地区部会活動	救護班	松戸市花火大会
総 括		
<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の施設長連絡会は、施設間での情報交換は有意義であった。 ・25年度は2回の研修を企画。1回目「認知症の看護について」は現場において参考となる貴重な講義だった。2回目は、前回好評だった「看護師のための簡単にできるストレッチ」は、なかなか身体を動かす機会がなく参加者には好評だった。 ・まちの保健室は利用者が少なかったため中止し、イベント型にした。 		
今後の取り組み(残された課題)		
<ul style="list-style-type: none"> ・会員のニーズにあった研修企画 ・まちの保健室に代わる地域活動 		

(6) 東葛地区部会

地区部会長：小谷 美千子

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：地域における災害医療と看護職の役割 講師：新 玲子 氏	日 時：8/21 (水) 14:00～15:30 場 所：ウェルネス柏 4階研修室 参加者：121名 (うち松戸地区 37名)
	第2回研修会 ① テーマ：知りたい、見たい、 適切で安全な摂食・嚥下 講師：小松 薫 氏	日 時：10/16 (水) 14:00～15:30 場 所：国立がん研究センター東病院臨床開発センターセミナー室 参加者：46名
	第2回研修会 ② テーマ：見てみよう！やってみよう！ 糖尿病足病変予防 講師：山中 彩 氏・篠田 美和 氏	日 時：10/30 (水) 14:00～16:30 場 所：ウェルネス柏 4階会議室 参加者：25名
	第3回研修会 (看護連盟東葛支部合同開催) テーマ：アロマテラピーを愉しむ ーナースのためのアロマテラピー入門ー 講師：石井 明日香 氏	日 時：2/13 (木) 14:00～15:30 場 所：ウェルネス柏 4階大会議室 参加者：34名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/12 (日) 10:00～14:15 場 所：道の駅 しょうなん 参加者：390名
	まちの保健室 (常設型) 毎月第2 (土) 時間 10:00～14:00	実施日：7/13、9/14、11/9、1/11、3/8 場 所：道の駅 しょうなん 参加者：841名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会 (計6回)	日 時：5/12、7/13、9/14、11/9、1/11、3/8 場 所：道の駅 しょうなん
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：8/21 (水) 15:45～17:00 場 所：ウェルネス柏 4階研修室 参加数：19施設 23名
	第2回連絡会	日 時：2/13 (木) 15:45～17:00 場 所：ウェルネス柏 4階大会議室 参加数：17施設 19名
総 括 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き連携・協働が形となる活動の継続と、地域行政を新たな連携先とするための方策を実施してきた。 ・「まちの保健室」活動は、会員施設の協力を得て来場者数が増加、連絡会についても参加施設や個人の増員を見ることができた。また、行政機関や隣接する地区部会、連盟地区支部との合同研修会が開催できたことは、多くの会員による協働の成果である。 		
今後の取り組み(残された課題) <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果を元に、看護職の就労促進のための説明会開催を方針の一つとし、連絡会で技術研修の可否を確認した。しかし広報に繋がらず、今年度実施には至らなかった。地元紙に技術研修の案内を掲載した。 		

(7) 印旛地区部会

地区部会長：伊藤 恵美

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：みんなで取り組む職場のメンタルヘルス 講師：山里 千栄子 氏	日時：6/27 (木) 14:00～16:00 場所：佐倉厚生園 庭園記念館 参加者：59名
	第2回研修会 テーマ：人々の地域での暮らしを支える為に病院看護師が果たす責任～家族の調整方法や意思決定支援に焦点を当てて～ 講師：吉田 千文 氏	日時：12/26 (木) 14:00～16:30 場所：佐倉厚生園 庭園記念館 参加者：85名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日時：5/12 (日) 13:30～16:30 場所：ボンベルタ成田店 4階エレベーターホール脇 参加者：329名
	進路相談等	日時：5/12 (日) 13:00～16:30 場所：ボンベルタ成田店 4階エレベーターホール脇 参加者：0名
	まちの保健室（常設型） 毎月第2（日） 時間 13:30～16:30	実施日：4/14、6/9、7/14、8/11、9/8、10/13、11/10、12/8、1/12、3/9 場所：ボンベルタ成田店 4階エレベーターホール脇 参加者：1,769名
	まちの保健室（イベント型） 成田健康福祉まつり 時間 9:00～16:00	実施日：10/20 (日) 成田市保健福祉館 参加者：230名
	千葉ゆうあいピックソフトボール救護 協力員 2名救護	実施日：9/14 (土) 場所：成田球場 *台風の影響で9月15日は実施せず、9月14日のみの救護となった
	佐倉朝日健康マラソン救護 役員+協力員 30名救護	実施日：3/30 (日) 場所：岩名運動公園 参加者：13,183名予定
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計7回）	日時：4/18、5/24、6/27、7/19、9/27、12/13、2/28 場所：日産厚生会 佐倉厚生園
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：6/27 (木) 10:30～12:00 場所：日産厚生会 佐倉厚生園 参加数：11施設 11名
	第2回連絡会	日時：12/13 (金) 10:30～12:00 場所：日産厚生会 佐倉厚生園 参加数：7施設 7名
5 その他、地区部会活動	印旛地区卒後研修会	日医医科大学千葉北総病院 インコトール2名 血糖マネージ1名 成田赤十字病院 家族看護4名 フィジカリスト1名 聖隷佐倉市民病院 東邦大学医療センター佐倉病院 看護倫理1名 リカA4名 褥瘡予防2名 創傷管理2名 ストマ7名 糖尿病2名
総括		
<ul style="list-style-type: none"> ・常設型まちの保健室を楽しみに、何回か来て下さる参加者が増えている。 ・奇数月の骨密度測定のある時には参加者数が多い。 ・地域のイベントの救護依頼が増えてきている。 		
今後の取り組み(残された課題)		
<ul style="list-style-type: none"> ・印旛地区4施設の公開卒後教育を次年度も継続する。 ・次年度は介護職の研修会の要望もあったことから介護職新人向けに実施してみる。 		

(8) 利根地区部会

地区部会長：村山 敦子

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：新人看護職員交流会 講師：金丸 満里子 氏・長 正史 氏	日時：7/26（金）13：30～17：00 場所：国保旭中央病院 参加者：53名
	第2回研修会 テーマ：看護専門職のメンタルヘルス 講師：水澤 都加佐 氏	日時：9/6（金）14：00～16：00 場所：国保旭中央病院 参加者：74名
	第3回研修会 テーマ：退院支援と地域連携 講師：吉田 千文 氏	日時：11/22（金）13：30～16：15 場所：国保旭中央病院 参加者：115名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日時：5/12（日）10：00～15：00 場所：イオンモール銚子 風の広場 参加者：1,335名
	まちの保健室（常設型） 毎月第3（土） 時間 10：00～15：00	実施日：6/15、7/20、9/21、10/19、11/16、12/21 場所：ふれあいパーク八日市場・水の郷さわら・多古あじさい館 参加者：749名
	進路相談等	場所：まちの保健室等に対応
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計9回）	日時：4/26、5/12、6/28、7/26、9/6 10/11、11/22、1/24、2/28 場所：島田総合病院、イオンモール銚子、旭中央病院、多古中央病院、東庄病院
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：6/28（金）15：00～16：30 場所：旭中央病院付属看護専門学校 参加数：13設 13名
	第2回連絡会	日時：2/28（金）15：00～16：30 場所：旭中央病院付属看護専門学校 参加数：14施設 14名
5 その他、地区部会活動	第34回九都県市合同防災訓練	日時：9/14（土）12：30～15：00 場所：千葉科学大学 参加数：10施設 15名
総括		
<ul style="list-style-type: none"> ・研修会については、3回とも参加者数も多く、アンケート結果からも好評価の意見が多かった。自分たちが抱える課題に関しての示唆が得られる内容であったためと考える。アンケート結果を基に地域で今、求められている課題を分析し、興味を持つ研修計画を考えていきたい。 ・まちの保健室は「道の駅」を会場にしているため、純粋な地域住民とはいえないが参加したことで自身の健康に関して、考える機会をできればいいのではないかと考える。 ・今年度は九都県市合同防災訓練に参加でき、参加者からも非常に良かったとの声が多く大変良かった。 		
今後の取り組み(残された課題)		
<ul style="list-style-type: none"> ・利根地区内ではどの施設でも、働いてい看護職員の高齢化が問題で、職員を募集しても集まらないという問題がある。潜在看護職を就職に結びつけたくても、手段がわからず、悩んでいる。今、働いている職員を辞めさせない取り組みも必要だが地区内で就業相談を今後、考えていきたいと考えている。 		

(9) 山武地区部会

地区部会長：金澤 美智子

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：地域ぐるみの褥瘡ケア ～目標の共有と具体的ケアに必要なこと～ 講師：鈴木 由加 氏	日 時：7/27 (土) 13:30～15:30 場 所：千葉県立東金病院 会議室 参加者：48名
	第2回研修会 テーマ：介護保険制度と認知症の支援について 講師：山崎 政城 氏	日 時：10/26 (土) 13:30～15:30 場 所：山武健康福祉センター 参加者：台風の為中止
	第3回研修会 テーマ：介護保険制度と認知症の支援について 講師：山崎 政城 氏	日 時：1/25 (土) 14:00～16:00 場 所：さんむ医療センター 参加者：66名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/12 (日) 10:00～12:30 場 所：東金サンピア ステージコート 参加者：302名
	まちの保健室 (常設型) 毎月第3 (土) 6月のみ第4 (土) 時間 14:00～16:00	実施日：6/22、7/20、8/17、9/21 10/19、12/21、1/18、2/15 (中止) 場 所：東金サンピア 2階スカイコート 参加者：254名
	まちの保健室 (イベント型) イベント名：城西国際大学学校祭 時間 9:00～16:30	実施日：11/4 (月) 場 所：城西国際大学看護学部 N棟 参加者：724名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会 (計6回)	日 時：4/9、6/11、9/3、11/12、1/14、3/11 場 所：山武健康福祉センター 3階会議室
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/11 (火) 15:00～16:30 場 所：山武健康福祉センター 3階会議室 参加数：11設 11名
	第2回連絡会	日 時：11/12 (火) 15:00～16:30 場 所：山武健康福祉センター 3階会議室 参加数：11施設 11名
	第3回連絡会	日 時：3/11 (火) 15:00～16:30 場 所：山武健康福祉センター 3階会議室 参加数：10施設 10名
5 その他、地区部会活動	合同就職説明会・看護技術講習会	日 時：2/6 (木) 13:30～15:30 場 所：城西国際大学看護学部 N棟 参加数：9施設 15名 協力員：役員8名 協会職員3名
総 括 <ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の協力体制がとても良く、行事を行うのもとてもスムーズだった。今年度は、新しい行事を2つ行ったが比較的反応も良く、来年度もつながってほしいと思う。 ・ 城西国際大学の学校祭における「まちの保健室」では、参加者が多くまた、看護学生の協力もあった。もう少し、看護学生の参加を来年度は試みたいと思っている。 ・ 合同就職説明会では、参加者が来るのかどうか役員全員が心配していたが、初回にしてはとても反響が良くて驚いた。潜在の看護師の就職にも繋がって良かったと思う。 		
今後の取り組み(残された課題) <ul style="list-style-type: none"> ・ 山武地区の会員は少なく大きな病院が無い、病院が少ないことで役員の選択に苦労している。特に部会長は負担が大きく、受けられる病院が少ない。毎回地区部会長交代時期には、混乱を招いてしまう。中小病院では、なかなか受けづらい状況である。次年度から、受けられる病院で当番制にして部会長を行うこととした。 		

(10) 長夷地区部会

地区部会長：倉津 与之美

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：栄養管理研修 講師：相馬 正芳 氏	日 時：7/25 (木) 13:30～17:00 場 所：睦沢町環境改善センター 参加者：54名
	第2回研修会 テーマ：ワーク・ライフ・バランス (管理者研修) 講師：蒲島 竜也 氏	日 時：9/26 (木) 13:30～15:00 場 所：睦沢町環境改善センター 参加者：29名
	第3回研修会 テーマ：救急看護 講師：行方 慶太 氏・菅沢 直美 氏 小安 麻子 氏・清水 博和 氏 加藤 弘美 氏・大高 明子 氏	日 時：10/12 (土) 10:30～16:30 場 所：茂原市茂原駅前学習プラザ 参加者：32名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/12 (日) 12:30～15:00 場 所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」 参加者：347名
	まちの保健室 (常設型) 4月～9月毎週 (土) 10月・11月毎月第4 (土) 時間 11:00～15:00	実施日：4月～9月毎週 (土) 10月・11月毎月第4 (土) 場 所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」 参加者：319名
	まちの保健室 (イベント型) イベント名：がん予防展 時間 9:45～15:00	実施日：2/16 (日) 場 所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」 参加者：68名
	まちの保健室 (イベント型) イベント名：アスモ桜まつり 時間 11:00～15:00	実施日：3/29 (土) 場 所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」 参加者：23名
	救護 イベント名：アスモ夏まつり 時間 13:00～18:00	実施日：8/24 (土) 場 所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」 参加者：7名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会 (計6回)	日 時：4/11、6/20、7/25、10/24、1/23、2/13 場 所：睦沢町環境改善センター
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/20 (木) 15:00～17:00 場 所：公立長生病院 参加数：13施設 14名
	第2回連絡会	日 時：2/13 (木) 15:00～17:00 場 所：公立長生病院 参加数：7施設 7名
5 その他、地区部会活動	看護研究研修	4/25、7/11、10/24
総括	<p>・役員が3人退職のために辞められてしまい、わけがわからないまま1年が終わりました。ちゃんと出来なかった事もたくさんありますが、来年度は地区にとってやれることをもっと考えて活動したいと思います。</p>	
今後の取り組み(残された課題)	<p>・長夷地区は看護師が少ないため、どの施設でも困っています。潜在看護師へのアピールをしたいと思います。</p>	

(11) 君津地区部会

地区部会長：村田 泉

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：患者のリラクゼーション援助 —アロママッサージの方法を知る— 講師：糟谷 純子 氏	日時：7/5（金）13：20～15：30 場所：君津中央病院 4階講堂 参加者：33名
	第2回研修会 テーマ：明日から実践 看護師だからできる 痛みのアセスメント 講師：尾形 良子 氏	日時：11/14（木）13：20～15：30 場所：君津中央病院 4階講堂 参加者：42名
	第3回研修会 テーマ：事例研究発表会 講師：中机 えり子 氏	日時：2/6（木）13：30～15：30 場所：君津中央病院 4階講堂 参加者：55名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日時：5/12（日）10：00～15：30 場所：イオンタウン木更津朝日 参加者：391名
	まちの保健室（常設型） 毎月第 3（土） 時間 13：30～16：00	実施日：6/15、7/20、8/17、9/21、11/16、12/21、1/18 場所：イオンタウン木更津朝日 参加者：236名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：君津市健康と福祉のふれあい祭り 時間 10：00 ～ 14：30	実施日：10/12（土） 場所：君津市保健福祉センター ふれあい館 参加者：593名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計8回） ・未加入施設への研修案内送付 ・欠席施設へ施設連絡会報告の送付	日時：4/11、5/12、6/21、9/5、 11/14、12/13、1/16、2/28 場所：君津中央病院 4階講堂
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会 ・総会報告 ・年間計画 ・最近の感染情報	日時：6/21（金）15：00～16：30 場所：君津中央病院 4階講堂 参加数：20 施設 20名
	第2回連絡会 ・血糖の落とし穴 認定NSより ・今後の役員について	日時：1/16（木）15：00～17：00 場所：君津中央病院 4階講堂 参加数：15 施設 16名
総 括		
<ul style="list-style-type: none"> ・アロマ、ヨガと近年研修参加者より好評を得られているので、今年度、アロマを生かした患者へのリラクゼーション援助を実践的に学ぶことができ、認定看護師による"痛みのアセスメント"では即病院で今後を生かせる内容となった。未加入施設でも研修会の参加は、得られてきている。今後も、継続したい。 		
今後の取り組み(残された課題)		
<ul style="list-style-type: none"> ・看護職が不足している為に研修会・役員等に参加させたいが、人員不足が慢性化していて難しいと回答があった。地域的に看護師採用説明会等の必要性が、あると思われる。 ・保健師による協会加入がなく、各市との連携が得づらい。加入を増やすには、どのようにしたらよいのか今後の課題である。 		

(12) 安房地区部会

地区部会長：丸山 祝子

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：退院支援に活かそう！退院後の 安心を提供する他職連携と社会資源 講師：他職種管理者7名	日 時：9/28（土）13：30～16：00 場 所：亀田総合病院 K棟13階ホライゾンホール 参加者：44名
	第2回研修会 テーマ：認知症高齢者の笑顔へ向けての 看護ケア 講師：岩澤 れい子 氏	日 時：12/7（土）14：00～16：00 場 所：亀田総合病院 K棟13階ホライゾンホール 参加者：38名
	看護研究発表会 抄録作成・配布	日 時：雪の為中止 場 所： 参加者：
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/12（日）10：00～15：00 場 所：イオンタウン館山 参加者：721名
	まちの保健室（常設型） 不定期 時間 11：00～13：00	実施日：6/1、6/22、10/5、10/19 場 所：イオンタウン館山 ・イオン鴨川 参加者：148名
	進路相談等 高校進路ガイダンス	日 時：7/12（金）11：00～12：30 場 所：長狭高校 参加者：40名
	進路相談等 高校進路ガイダンス	日 時：11/19（火）14：15～15：15 場 所：館山総合高校 参加者：160名
	進路相談等 高校進路ガイダンス	日 時：1/28（火）14：15～15：15 場 所：館山総合高校 参加者：40名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計9回）	日 時：4/17、5/12、6/21、8/7、9/28 11/20、12/7、1/29、2/26 場 所：亀田総合病院
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/21（金）13：30～15：30 場 所：亀田総合病院 参加数：10施設 11名
	第2回連絡会	日 時：2/26（水）13：30～15：00 場 所：亀田総合病院 参加数：11施設 11名
5 その他、地区部会活動	看護師派遣事業	10日間 30名派遣
総 括 <ul style="list-style-type: none"> 今年度、看護研究発表会は当日悪天候（雪）により中止とした。参加者の安全を第一優先に考え判断したが非常に残念であった。抄録をもって発表に変えさせて頂いた。 今年度の事業は予定通り実行し大きな問題はなく終えた。看護師派遣事業も年々増加し、協力施設の負担も大きくなっていく現状ではあるが、公益社団法人としての地域貢献としては継続していく必要があり、今後も多くの施設の協力を頂きたいと考える。 		
今後の取り組み（残された課題） <ul style="list-style-type: none"> 安房地域の看護師不足は深刻であり、今後潜在看護師の掘り起こしと支援について、地区部会としても取り組みを検討していきたいと考える。また、協会の勧めるWLB事業への参加も検討していく必要があると考える。 		

平成25年度地区部会会計執行状況表

26. 3. 31
(単位 円)

	地区部会	収入	前期支出	後期支出	支出計	残額	執行率	銀行利息
1	千葉	727,000	440,754	194,818	635,572	91,428	87.4%	40
2	市原	550,000	308,184	229,360	537,544	12,456	97.7%	17
3	船橋	535,000	217,358	134,811	352,169	182,831	65.8%	50
4	市川	671,700	259,422	253,114	512,536	159,164	76.3%	44
5	松戸	455,000	235,211	117,997	353,208	101,792	77.6%	28
6	東葛	524,500	157,763	302,336	460,099	64,401	87.7%	46
7	印旛	677,500	236,456	161,621	398,077	279,423	58.8%	37
8	利根	529,808	375,703	154,105	529,808	0	100.0%	27
9	山武	(6,000) 518,000	214,784	183,492	398,276	125,724	76.0%	41
10	長夷	675,550	340,895	195,010	535,905	139,645	79.3%	45
11	君津	548,500	184,698	256,141	440,839	107,661	80.4%	65
12	安房	666,000	362,403	256,761	619,164	46,836	93.0%	36
	計	(6,000) 7,078,558	3,333,631	2,439,566	5,773,197	1,311,361	81.5%	476

部門	総収入	前期支出	後期支出	支出計	残高
地区部会	7,084,558	3,333,631	2,439,566	5,773,197	1,311,361
看護協会	4,293,442	2,513,383	3,729,384	6,242,767	△ 1,949,325
	11,378,000	5,847,014	6,168,950	12,015,964	△ 637,964

前年

収入	前期支出	後期支出	支出計	残高	執行率	銀行利息
10,434,000	4,915,687	5,814,677	10,730,364	△ 296,364	102.8%	459

要 望 書

平成25年8月27日

千葉県知事 森田健作 様

公益社団法人 千葉県看護協会
会 長 松永 敏子

国では、急速な少子・高齢化の進展、人口、世帯構造や疾病構造の変化、医療の高度化・複雑化、国民の医療ニーズの増大等、医療を取り巻く環境の大きな変化に対応すべく、医療・介護提供体制の改革が進められています。

これらの動きを背景に、全国でも突出して高齢化の進行が速い千葉県では、深刻な医師・看護職不足の解消が従来以上に重要な課題となっております。看護職をはじめとする医療従事者の人材確保に向けては、働き続けられる労働条件・環境づくりが不可欠です。勤務環境改善を目指す医療機関等の主体的な取組みに対する総合的な支援を強化する必要があります。

また、限られた医療資源を効果的・効率的に活用するために、看護職にはより高度、且つ幅広い領域で役割を果たすことが求められています。

看護基礎教育の充実と看護職の資質の向上に向けた取組みの一層の充実が必要です。

さらに、今後の医療提供体制の改革並びに地域包括ケアの推進に当たっては、特に、在宅領域における看護職員の確保が鍵となっており、安定的な供給体制の整備が喫緊の課題となっております。千葉県では、地域医療再生基金を活用し、訪問看護実践センター事業等、在宅に欠かせない各種事業を推進しているところですが、今後この事業の更なる充実が重要な課題となっております。

よって、平成26年度予算案の編成に当たっては、以下の事項についてご尽力賜りますよう、強く要望いたします。

要 望 事 項

I 千葉県における看護職の定着・確保対策の推進

県民に安心して安全な医療・看護を提供するためには、質の高い看護職の養成と、看護の専門性を発揮し働き続けられる環境づくりが必要である。

よって、養成力の強化と資質の向上並びに県内就業の促進と働き続けられる環境づくりへの取組みを強化されたい。

II 在宅医療・訪問看護の推進

在宅医療を希望する患者が、住み慣れた自宅や地域で安心して、自分らしい生活ができるためには、在宅医療にかかる体制の充実が不可欠である。

よって、利用者に医療・介護ニーズに適切に対応し、安心と尊厳ある在宅生活を支えていくための体制整備と人材確保に、引き続き支援を願いたい。

Ⅲ 安全・安心な出産環境の確保

少子化が進む中、助産師が専門性を発揮し、安全な妊娠・出産、子育てのできる環境を整備することが喫緊の課題である。

よって、院内助産及び助産外来を整備し、妊産婦指導の充実及び分娩・産褥期への適切な関わりを充実するために、助産師の適正な活用による配置を指導されたい。

Ⅳ 保健師の資質の向上と新たな活動方策の確立

今般、10年ぶりに「保健師の活動指針」の見直しがあり、複雑多様な県民ニーズに応えるため、ソーシャルキャピタルを活用した自助、共助の支援や、健康寿命の延伸や健康格差の縮小のため、生活習慣病の発症予防に加え、重症化予防の徹底、ライフステージに応じたところ、次世代及び高齢者の健康の推進が新たに盛り込まれたところである。

よって、地域における保健師の保健活動の推進について、県民に良質の保健指導を提供できるよう体制整備への取り組みについて強化されたい。

Ⅴ 医療安全対策の推進

医療安全対策の推進は、県民に安全で質の高い看護を提供するとともに、さらに、看護職の定着・確保にも大きな影響を与える。

よって、各医療機関における医療安全体制の強化や医療安全対策への組織的な取り組みのための助成を願いたい。

Ⅵ 地域医療再生基金活用事業の継続について

地域医療再生基金の活用による各種事業が平成25年度で終了するが、26年度以降も引き続き安定的な事業が行われるよう支援願いたい。

要望事項詳細は別紙のとおりです。

要 望 事 項 詳 細

I. 千葉県における看護職の定着・確保対策について

県民に安心して安全な医療・看護を提供するためには、質の高い看護職の養成と、看護の専門性を発揮し働き続けられる環境づくりが必要である。

よって、以下の事項について実施されたい。

1. 養成功率の強化と資質の向上について

(1) 教育関係者との連携強化による看護学生の確保

看護を志す質の高い学生の確保に向け、中・高校生に対して看護に対する関心を促すために、進路指導教諭への理解を深める場、看護進路相談の機会が必要であり、教育関係者との連携を強化されたい。

(2) 千葉県立保健医療大学における看護基礎教育の充実と大学院教育等の促進

看護職の役割拡大や専門性の向上等、社会の期待に応える看護職を確保するために以下の事項について早期に実施されたい。

ア. 看護学科の1学年定員の増員

イ. 保健師、助産師教育及び特定行為に係る看護師の研修制度に対応する専門的教育機関としての看護学研究学科の設置

ウ. 千葉県内の看護系大学等において看護学の教育・研究に従事する職員の養成

エ. 看護職の卒後研修を実施する付属機関(仮称看護研修センター)の併設

(3) 看護師等養成校及び実習施設における臨地実習体制等の整備

看護師等養成校において看護実践を重視した基礎教育を実施するためには、専任教員及び実習指導者の質・量の確保が不可欠である。

よって、以下の事項について実施されたい。

ア. 看護教育の向上を図るため、計画的な看護教員の養成

イ. 実習施設等の状況に応じて専任教員の増員をしている養成校へ支援

ウ. 病院における実習指導者を専任として位置づけるよう指導されたい。また、その専任の実習指導者に対する助成

エ. 臨床実習指導者講習会の受講者の定員増

(4) 修学資金の貸付制度の在り方について検討

現状の社会情勢等を踏まえて現行の制度を再編し、看護学生が安心して勉学に集中できるよう、以下の事項について総合的に修学資金のあり方を再検討されたい。

ア. 必要な学生に対する貸付等対象者の要件についての見直し

イ. 貸付額の増額

ウ. 大学院生への貸付の拡大

(5) 専門分野における質の高い看護師の育成と処遇について

がん、糖尿病、脳卒中、急性心筋梗塞、救急医療等の看護に精通した専門看護師や認定看護師の活用は、本人のみでなく他の看護師の離職防止に繋がるとともに、専門性の高い看護の提供を行うためにも不可欠である。

平成24年度から開始した「認定看護師養成支援事業」を平成26年度も継続されたい。また、その範囲を専門看護師まで拡大されたい。

(6) 准看護師制度について

准看護師の養成停止の明確化について、国に提言されたい。

また、その養成停止が実現するまでの間は、准看護師養成校の質の確保、並びに県立看護専門学校2年課程の養成を存続されたい。

2. 県内就業の促進と働き続けられる環境づくりについて

(1) 看護職のワーク・ライフ・バランスの推進

看護の現場では、夜勤・交代性勤務の労働負荷に加えて、時間外勤務が常態化しているなど労働条件・環境改善等の立ち遅れにより、仕事と家庭の両立が困難となり、多くの看護職が離職している。ワーク・

ライフ・バランスを踏まえた働き続けられる環境づくりが喫緊の課題である。

よって、以下の事項について実施されたい。

ア. ワーク・ライフ・バランスに基づいた柔軟な雇用形態の導入の推進を指導されたい。

イ. 院内保育所や学童保育の設置や運営への助成の拡充、保育時間や学童保育年齢の延長等、柔軟に活用できる体制の確保、病児保育等地域のニーズにあった保育体制の整備について、市町村への働きかけを強化し、運営補助等の支援をされたい。

(2) 看護職の定着対策の強化

離職を防止するためには、様々な対策を重層的に実施することが重要である。よって、県は医療機関立入検査の際に、各医療機関の労働環境等を把握し、以下の事項を指導されたい。

ア. 産休・育児休業の代替要員の確保

イ. 労働時間、休暇の取得、不当な時間外勤務の有無等労働関係法令の順守状況

ウ. リエゾンナースや臨床心理士の配置による看護職のためのメンタルヘルス相談体制の充実

エ. 看護の立場や考え方を病院経営に生かすために、看護職の副院長制導入の促進

オ. 薬剤師の病棟配置や看護補助者の活用等、看護職が専門性を発揮するためのチーム医療の推進

カ. 夜勤回数、給与体系(医療職三表の見直し)等看護職の労働環境の改善を国へ要望

(3) ナースセンター事業の充実強化について

看護職の再就業の支援を促進するために、以下の事項にかかる委託料を増額されたい。

ア. ナースセンター事業を効果的に運営するためのシステム等の見直し

イ. 潜在看護職掘り起こしのために、市町村への協力、マス・メディアを活用した広報活動の強化と離職者登録制の実施

ウ. 県内の医療従事者の確保のための合同就職説明会の組織的な開催

(4) 卒後研修等の更なる充実

全ての看護職が質の高い卒後研修を継続的に受けられるよう、一層の財政的支援を実施されたい。

(5) 広報活動の強化

県内への就業を促進するため、県庁のホームページやマスコミ等による広報活動を強化されたい。

II. 在宅医療・訪問看護の推進について

在宅療養を希望する患者が、住み慣れた自宅や地域で安心して、自分らしい生活ができるためには、在宅医療にかかる体制の充実が不可欠である。

よって、以下の事項について実施されたい。

1. 在宅療養支援システムの推進

在宅療養支援診療所の機能強化及び病院から在宅への移行を円滑に実施するため、看護職をはじめとする専従の退院調整者を配置するよう、医療機関に指導されたい。

2. 在宅療養を推進する組織体制の充実強化

各疾患や対象者別の在宅療養を所管している現在の県庁内組織について、在宅療養を推進するために、在宅支援課等、在宅医療・看護を統括する体制を再編し充実強化されたい。

3. 在宅療養を推進するための家族支援の充実

在宅療養は、家族の協力なくして継続することが不可欠であり、家族を支援するためにもレスパイト等のサービスを充実強化されたい。

4. 訪問看護エリアの拡大

訪問看護ステーションの空白地域の解消及び充実に目的とし、新規事業所設置やサテライト制度を活用した訪問エリアの拡大等総合的な施策を実施されたい。

5. 地域の医療連携体制の構築

地域の医療連携体制の構築に、保健所が公平・公正な立場から積極的に関与するための条件整備を図られたい。

6. 通園施設等への訪問看護を可能にするしくみ

医療ニーズのある小児在宅療養者が、安心して療養生活が送れるように保育園等通園施設への訪問看護が可能となるよう国へ要望されたい。

Ⅲ. 安全・安心な出産環境の確保について

少子化が進む中、助産師が専門性を発揮し、安全な妊娠・出産、子育てのできる環境を整備することが喫緊の課題である。

院内助産及び助産外来を整備し、妊産婦指導の充実及び分娩・産褥期への適切な関わりを充実するために、助産師の適正な活用による配置を指導されたい。

Ⅳ. 保健師の資質の向上と新たな活動方策の確立について

今般、10年ぶりに「保健師の活動指針」の見直しがあり、複雑多様な県民ニーズに応えるため、ソーシャルキャピタルを活用した自助、共助の支援や、健康寿命の延伸や健康格差の縮小のため、生活習慣病の発症予防に加え、重症化予防の徹底、ライフステージに応じたところ、次世代及び高齢者の健康の推進が新たに盛り込まれたところである。

よって、地域における保健師の保健活動の推進について、県民に良質の保健指導を提供できるよう体制整備への取り組みについて強化されたい。

1. 統括的役割を担う保健師の配置

保健師の分散配置の拡大が進む中、地域や住民の健康課題を踏まえた効果的な保健活動を推進する観点から、組織横断的な機能を果たし、保健師活動と人材育成について統括的役割を担う保健師の育成・配置を進めるよう、市町村等への助言及び支援をされたい。

2. 保健師の「地区担当制」の推進

今回の新指針では、分野横断的に担当地区を決めて保健活動を行うことで、住民・世帯及び地域全体の健康課題を把握でき必要な支援を行えるという観点から対応が求められている。保健師が柔軟な活動を展開し、良質な保健サービスを提供していくためにも、保健師の地区担当制を推進されたい。

3. 保健師学生の臨地実習について

千葉県でも看護系大学の増加により、地域保健実習の学生は増加傾向にある。

一方、地域保健の現場では公衆衛生業務の多様化・複雑化する中で、保健師一人一人に求められる役割も大きくなり、実習受入れが困難になってきており、保健師を希望する学生が十分に指導を受けることができないまま卒業してしまうという状況が生じている。

保健師を目指す学生が、優先して地域等で効果的な実習を体験できるための方策を検討されたい。

4. 保健師活動を支える体制の整備

保健師が、その専門性を十分に発揮してより質の高い住民サービスを提供し続けるには、地域における保健師の活動について技術的、専門的側面からの助言及び支援、また、人材育成体系の構築などの対応が求められる。よって、本庁の保健福祉の総括部門に、保健師を配置し保健師活動を支える体制を整備されたい。

V. 医療安全対策の推進について

医療安全対策の推進は、県民に安全で質の高い看護を提供するとともに、さらに、看護職の確保・定着にも大きな影響を与える。

よって、以下の事項について実施されたい。

1. 各医療機関における医療安全推進体制の強化について

医療事故は様々な要因が関係しており、職種や立場を超えた組織的な医療安全対策が必要であり、そのため医療機関に対して専従の医療安全管理者の配置を指導されたい。

2. 医療安全対策への組織的な取組みのための助成について

本協会が、医療従事者及び県民への医療安全の普及を目的として開催する「医療安全大会」や「医療安全管理者の育成」事業等を実施しているが、さらに、全ての関係者が重層的に医療安全対策を強化するための事業等への助成を願いたい。

VI 地域医療再生基金活用事業の継続について

本県は、全国第2位のスピードで高齢化が進み、さらに在院日数の短縮化が進行し、医療依存度の高い在宅療養者が増加していきます。そうしたことから、現在、訪問看護の基盤整備として、標記基金を受け「訪問看護実践センター事業」として、人材の育成、小規模訪問看護ステーションへの支援を進めているところです。

しかしながら標記基金の活用による各種事業は平成25年度で終了すると聞いています。今後の本県の現状を踏まえると、平成26年度以降も引き続き安定的な事業が行われるよう支援を願いたい。

平成25年度 県・市町村及び関係団体の委員等受託状況一覧

審 議 会 ・ 協 議 会 等 名 称	役職名	協会職	氏 名
日本看護協会	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉県医療審議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県社会福祉審議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
看護のあり方に関する検討委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県立病院運営懇談会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県地域医療再生本部	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県女性の健康支援対策事業企画・評価委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県社会福祉協議会	評 議 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県民間病院協会	顧 問	会 長	松 永 敏 子
東金九十九里地域医療センター評価委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県糖尿病対策推進会議	役 員	会 長	松 永 敏 子
千葉市地域保健医療協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県身体障害者福祉事業団	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉県身体障害者福祉事業団	評 議 員	会 長	松 永 敏 子
千葉リハビリテーションセンター改革プラン検討会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県公衆衛生協会	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉大学医学部附属病院有識者懇談会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉大学医学部附属病院診療情報苦情処理委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり推進会議	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県プライマリ・ケア研究会	顧 問	会 長	松 永 敏 子
千葉県地域ぐるみ福祉振興基金	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉県学校保健学会	理 事	会 長	松 永 敏 子
ちば県民保健予防財団	評 議 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県母性衛生学会	理 事	会 長	松 永 敏 子
健康ちば地域・職域連携推進協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉市保健医療事業団	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉県小児救急電話相談事業協議会	評 議 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県男女共同参画推進懇話会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県男女共同参画推進連携協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県国民保護協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉市青葉看護専門学校運営協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県介護予防市町村支援委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
雇用均等行政推進員	委 員	会 長	松 永 敏 子
柏市の訪問看護の今を考える会	委 員	会 長	松 永 敏 子
ちばアクアラインマラソン実行委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県在宅医療推進連絡協議会	副 会 長	会 長	松 永 敏 子
千葉県歯・口腔保健審議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
新世紀ちば健康プラン推進協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県精神保健福祉協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県歯・口腔保険審議会 歯科保険事業専門部会	委 員	会 長	松 永 敏 子
看護師の「雇用の質」向上に係る企画委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉がんシンポジウム	理 事	会 長	松 永 敏 子
医療福祉ネットワーク千葉	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉県周産期医療審議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉プロモーション協議会	構 成 員	会 長	松 永 敏 子
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議	構 成 員	会 長	松 永 敏 子

審 議 会 ・ 協 議 会 等 名 称	役職名	協会職	氏 名
第10回アジア太平洋タバコ対策会議	名誉副会長	会 長	松 永 敏 子
千葉市在宅医療推進連絡協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
緩和ケア認定看護師教育課程教員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
新型インフルエンザ等対策検討部会	委 員	会 長	松 永 敏 子
松戸市病院事業経営計画推進懇話会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県がん対策審議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
看護師の「雇用の質」向上に係る企画委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県健康危機管理対策委員会専門部会	委 員	副 会 長	石 渡 祥 子
第二次千葉県地域福祉支援推進協議会	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
千葉市病院運営委員会	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
鎌ヶ谷総合病院運営協議会	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
千葉市健康づくり推進協議会	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
千葉県後期高齢者医療懇談会	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
千葉県保健師現任教育推進会議	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
千葉市防災会議	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
高齢社会をよくする女性の会千葉大会実行委員会	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
ちばアクアラインマラソン実行委員会救護専門委員会	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
千葉県救急・災害医療審議会	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
次世代育成支援対策を推進する千葉県民会議	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
医師・看護職員の長期需要調査に関する検討会	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
千葉県救急・災害医療連絡協議会	委 員	専務理事	澤 田 いつ子
心のふれあいフェスティバル実行委員会	委 員	常任理事	杉 本 龍 子
心の健康フェア実行委員会	委 員	常任理事	杉 本 龍 子
千葉いのちの電話等評議会	評 議 員	常任理事	杉 本 龍 子
認定看護管理者教育運営委員会	委 員	常任理事	杉 本 龍 子
千葉県国民保護協議会	幹 事	常任理事	杉 本 龍 子
千葉県小児救急電話相談事業協議会	委 員	常任理事	杉 本 龍 子
認定看護師教育課程（乳がん看護）委員会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉県社会福祉協議会明るい長寿社会づくり推進機構運営会議	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉ヘルス財団企画委員会 在宅ケア部会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉県がん対策推進部会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉市あんしんケアセンター等運営部会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉県障害者虐待防止連携協議会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
終末期医療等に関する高齢者向け啓発プログラムの開発・実施事業有識者会議	委 員	常任理事	星 野 恵美子
船橋市介護保険事業運営協議会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉市立海浜病院地域医療支援病院運営委員会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
明るい長寿社会づくり推進機構運営協議会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉県救急医療センター・精神科医療センター基本調査委託選定委員会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉市社会福祉審議会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉県福祉ふれあいプラザ指定管理者選定に係る外部有識者	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉市医療安全相談窓口運営協議会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉県福祉人材センター運営委員会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉県医療的ケア運営会議	委 員	常任理事	星 野 恵美子
介護保険関係団体協議会幹事会	幹 事	常任理事	星 野 恵美子

審 議 会 ・ 協 議 会 等 名 称	役職名	協会職	氏 名
千葉市保健所運営協議会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉県プライマリ・ケア研究会世話人会	委 員	常任理事	星 野 恵美子
千葉県介護保険事業支援計画・老人保健福祉計画策定懇談会	委 員	前専務理事	山 木 ま さ
千葉ヘルス財団	理 事	前専務理事	山 木 ま さ
習志野健康福祉センター運営協議会	委 員	理 事	長谷川 美 穂
千葉県肝炎対策協議会	委 員	理 事 (市原地区部会長)	小賀坂 好 子
市原市地域保健医療協議会災害医療専門委員会	委 員	理 事 (市原地区部会長)	小賀坂 好 子
市原市保健福祉施設等指定管理者選定審査会	委 員	理 事 (市原地区部会長)	小賀坂 好 子
市原地域・職域連携推進協議会	委 員	理 事 (市原地区部会長)	小賀坂 好 子
市原市保健福祉懇話会	委 員	理 事 (市原地区部会長)	小賀坂 好 子
市原健康福祉センター運営協議会	委 員	理 事 (市原地区部会長)	小賀坂 好 子
木更津市男女共同参画推進委員会	委 員	君津地区部会長	村 田 泉
千葉県脳卒中リハビリテーション協議会	委 員	船橋地区部会 (谷津保健病院)	吉 井 芳 美
千葉県地域リハビリテーション協議会	委 員	船橋地区部会 (谷津保健病院)	吉 井 芳 美
千葉県共用地域医療医療連携パソワーキンググループ(脳卒中中部)	委 員	千 葉 地 区 (千葉県共済医療センター)	中 田 正 浩
千葉県認知症対策推進協議会	委 員	印 旛 地 区 部 会 (千葉県佐原病院)	村 田 純 子
船橋市民とともに考える救急医療シンポジウム実行委員会	委 員	船橋地区部会長	山 寄 住 江
船橋在宅医療ひまわりネットワークへの参画及び企画	委 員	船橋地区部会長	山 寄 住 江
船橋市防災会議、船橋市国民保護協議会	委 員	前船橋地区部会長	西 方 恭 子
市原市消防委員会、市原市国民保護協会	委 員	市原地区部会	志 村 淳 子
船橋市保健・医療・福祉問題懇談会	委 員	船橋地区部会 (船橋市立医療センター)	中 野 由 紀 子
船橋市医療安全推進委員会	委 員	船橋地区部会 (船橋市立医療センター)	中 野 由 紀 子
船橋市地域密着型サービス運営委員会	委 員	みなみはま訪問 看護ステーション	高 橋 喜 美
鎌ヶ谷市保健・医療・福祉問題協議会	委 員	船橋地区部会 (初富保健病院)	小 島 英 子
千葉県介護支援専門員協議会	委 員	船橋地区部会 (ヘルスマネジメント研修)	野 田 美 保 子
千葉県介護支援専門員協議会	理 事		酒 井 朋 子
千葉県在宅医療推進連絡協議会	委 員	ちば訪問看護 ステーション 所 長	権 平 くみ子
千葉県訪問看護ステーション連絡協議会	会 長	ちば訪問看護 ステーション 所 長	権 平 くみ子
千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議	委 員	ちば訪問看護 ステーション 所 長	権 平 くみ子
千葉県がん対策審議会緩和ケア推進部会	専門委員	ちば訪問看護 ステーション 所 長	権 平 くみ子
市川、浦安地域職域連携推進協議会	委 員	市川地区部会長	渡 邊 一 枝
市川市国民保護協議会	委 員	前市川地区部会長	園 田 満 子

審 議 会 ・ 協 議 会 等 名 称	役職名	協会職	氏 名
松戸健康福祉センター運営協議会	委 員	松戸地区部会長	佐々木 悦子
香取健康福祉センター運営協議会	委 員	利根地区部会長	村 山 敦子
海匝健康福祉センター運営協議会	委 員	利根地区副部会長	加 藤 早苗
流山市災害医療対策会議	委 員	東葛地区部会幹事	内 田 てる美
船橋市消防委員会	委 員	船橋地区部会幹事	滝 口 恵子
君津地域・職域連携推進協議会	委 員	君津地区部会長	村 田 泉
千葉地域リハビリテーション連絡協議会	委 員	千葉地区部会長	石 井 崇子
長生健康福祉センター運営協議会	委 員	長夷地区部会長	倉 津 与之美
山武地域・職域連携推進協議会	委 員	山武地区部会長	金 澤 美智子
千葉県認知症対策推進協議会認知症専門職研修作業部会	委 員		佐々木 香
千葉県脳卒中連携の会準備委員会	委 員		和 田 勝美
千葉市障害者介護給付判定審査会	委 員		小 田 美代子
千葉市障害者介護給付判定審査会	委 員		清 水 清子